

八重山の買い物代行 ゆいまーる便

不安を無くし、
物流を支えます。
地域のために。
地域とともに。

5店の買い物代行します

サンエー、マックスバリュ、かねひで、ドン・キホーテ、ゆらていく市場の5店で、生活必需品など、毎日の暮らしに必要なもの約200品目をあなたの代わりにお買い物。梱包して貨物便で配送いたします。

お安い価格を見つけます

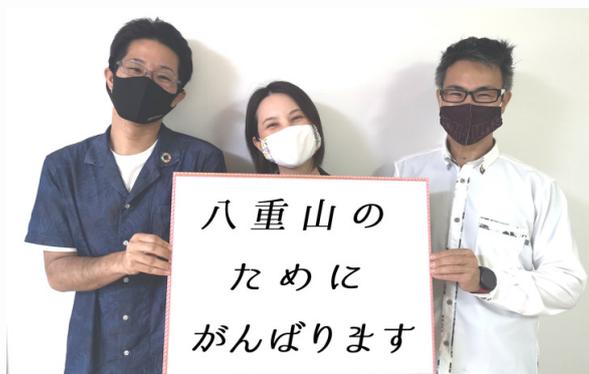
スーパーの特売情報やスタッフが店舗にて価格をチェックして、お安い価格を探します。買いまわる手間はなくなり、安心と自由時間が増えます。買い物のための移動も、船の往復代金もかからないため、とってもお得になります。

お得な情報が届きます

ゆいまーる便限定での食品のお買い得情報、特価や新製品などの情報もお届けします。スーパーのセールに行くことができなくても、諦める必要はありません。チラシに載らない情報も届くかもしれません、お楽しみに♪

はじめまして！

ゆいまーる便スタッフの平良、砦、今田です。平良と今田は大手量販店・離島配送で経験を積みました。皆さまに喜んでいただける八重山支援事業を、皆さまと一緒に成長させていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



ていどくる合同会社
沖縄県石垣市
新栄町22-8,2F
☎ 0980-87-0193
担当:070-4071-5809(今田)

ゆいまーる便 八重山



コロナ下、離島苦解消へ
ゆいまーる 住氏の買い物支援でCF



記者席

△15日に開講した試験直前対策講座。島一哉塾長は沖縄県と離島を比較し、昨年167人が受験し、1人あたり1人増えたことについて、単なる数字ではなく、狂いになれば絶対に「一生懸命やっ張って挑戦する」といふ「離島試験突破」の気持ちを奮い立たせた。

△石垣市内で新型コロナウイルスが確認された。このうち5人が50代で、いずれも確率例の濃厚接触者。クラスターが発生した。

コロナ下で石垣島での買い物に苦労する離島住民のため、ゆいまーるが「ゆいまーる」が間もなく本格始動する。立ち上げたのは、だんご合同会社の平良匡さんと今田敦之さん。市内大手書店の離島配送部門に従事する二人は、コロナに感染したら島に帰れない緊急事態宣言中でも買物に困るのが怖い、という切実な声に答えて、顧客からの切実な声に答えて、今年3月に創業した。

離島住民が石垣島で買い物をする際に、船で運ばなければならない本格始動に向けて、八重山地域全体を支援したい。

△石垣市内で新型コロナウイルスが確認された。このうち5人が50代で、いずれも確率例の濃厚接触者。クラスターが発生した。

記者席

△15日に開講した試験直前対策講座。島一哉塾長は沖縄県の試験の難しさを紹介。昨年度の高校体育で167人が受験し合格者はわずか1人だったことを挙げ、簡単なものではない。でも死に物狂いになれば絶対に結果は出る。一生懸命やったら人間が頑張る。挑戦する。この素直な気持ちを大切に伝えて欲しい。離島試験突破に向けて受講生の気持ちを奮い立たせた。

△石垣市内で新型コロナウイルスが確認された。このうち5人が50代で、いずれも確率例の濃厚接触者。クラスターが発生した。

目指せ難関突破!

2021年4月17日(土)八重山毎日新聞

第3種郵便物認可

石垣 | 離島買い物代行

「ていだくくる」社事業資金募る

大型店で購入、船で運送

【石垣】竹富島や西表島などの離島住民のため、買い物を代行するサービスの提供を目指す3月、石垣市で会社が誕生した。業務内容は、離島住民が求める品を市内の大型店を巡り安く買い求め、船で離島まで送り届けるサービス。同社は本格的な業務開始を目指す。5月23日までクラウドファンディングで資金を集めており、6月1日からの本格始動を目指す。

資金を募っているのは「ていだくくる」合同会社。同社代表社員で、自身も西表島での生活経験もある平良匡さん(36)によると、大型スーパーがない離島住民は日常の買い物に苦労している。同社は23日から暫定的に法人向けにサービスを開始したが、現在は平良さん個人の車を出発点として対応する。今後は大量の荷物を運ぶための車や、生鮮食品を保管する冷蔵庫などが必要となるため、ネットでの寄付を募るクラウドファンディングで200万円を目標額に資金を集めている。専用サイト「CAMPER」で、社名を募集することに参加できる。

平良さんは「新型コロナウイルスから島の安全を守り、住民の暮らしを良くしたい」と思っている。この活動を通じて離島の生活を多くの人に知ってほしいと話している。

石垣市内平良代表社員提供

石垣島 離島 買い物代行

コロナで買い物が大変な離島の暮らしを支えたい!

石垣島 離島 買い物代行

ていだくくる

2021年4月24日(土)琉球新報

私たちは島の美しさに、感謝で行動することに決めました。八重山は誰にでも優しい。

どれほど癒されたか数え切れません。島を利用するだけでなく、島のために何か恩返しができないだろうか？
とっていたところに、新型コロナウイルスが全国を襲いました。

離島から買物に来られる皆さまの不安の声に耳を傾け、「ゆいまーる」は誕生しました。

コロナ不安をなくし、物流を支えます。小さな島から大きな意義を掲げ、新聞に顔を出し、バカ真面目と言われようとも、純粋に島を想う気持ちを実行していきます。

ほぼボランティアのような活動ですが、利益より皆様の笑顔が見たいです！ よろしくおねがいたします！